

## 第12回「福祉・環境のまち部会」 会議録

1 開催日 平成29年5月25日（木）9：30～

2 場所 新見市役所 第5委員会室

3 出席状況 出席6名

部会長	上前 文昭	出席	副部会長	西田 勝江	出席
委員	大月 礼子	出席	委員	早瀬 正弘	出席
委員	宮地 恵子	出席	委員	栗本 真吾	欠席
委員	鈴江 恵子	欠席	委員	前田 道子	出席

4 事務局出席者

総務部協働推進課 2名

5 傍聴者

なし

6 議事内容

1 開会

2 あいさつ

部会長挨拶

3 協議

(事務局から)

会議冒頭、前回会議において委員から資料提供の依頼があった、市内の「自主防災組織設立届出一覧」の資料と「自主防災組織の結成状況等一覧」の資料を各委員へ提供し、概要を説明。

- 
- ・「施設入居者に対するボランティア」というものについて検討してみてはどうかと思っている。介護施設に対するボランティア支援というもので、東京の稲城市でもそのような取り組みをやっているようである。老健などの施設のスタッフへ聞いてみても、そういったボランティア制度があれば大変ありがたいとのことであった。
  - ・多少のボランティアは各施設でもやっているようだが、会員登録制によるボランティアなどがあれば有効かとも思う。
  - ・学校などでも支援ボランティアというものがあるし、高齢者施設に目を向けても良いと思うが、今年度は違うテーマでいけば良いのではと思う。

- ・防災など町内や地域でまとまってできることをすることが大切なのではないかと思う。小さい単位でできることをするということから進めてはと思っている。
- ・哲西でも婦人会・防火クラブで哲多とも協力しながら防災訓練などもやる予定がある。  
「環境」で言えば分野も広がるので、特定のテーマを絞って、思いやりの心を持って取り組めるテーマを設定してみればと思う。
- ・小さい組織で取り組めるものが無いような気がするので、そういった小さい組織でも取り組める防災対策について考え、提言するということもあるかと思う。
- ・災害発生時における具体的な活動・動きなどについての細かな提言ができないかと考えている。
- ・防災計画や新聞報道などにより、こうしようということは決まっていますが、実際に市民が知っているか、また、地域ごとにどう動くかなど、有事の際に具体的に実行できることについて、何か提言ができればと思う。
- ・自主防災組織率が本市は70%程度とのことだが、例えば組織率を100%にしたうえで、内容を充実させるという取り組みが大切なのではないかと思う。自主防災組織の活動状況などについても知る必要があると思う。
- ・たちまちできることを市全域に広めるような活動というものがいいのではないか。すぐにできる取り組みを全市に広げるというスタンスが良い。
- ・自主防災組織の設立促進を行うとともに、プラスしてこのような取り組みをしてはといった提言がいいかもしれない。
- ・自主防災を中心に考えるか、地震対策などにするかなど、テーマの絞り込みに向けて考えていきたい。防災計画の研究もしなければならないと思うし、自主防災組織率100%に向けた行政主導による支援ということがまず大切かなと思う。次回の会議までに、ぜひ市の防災計画の内容も見たいと思う。
- ・組織が設立されていない地区へは、市から設立を促すなどの取り組みが必要ではないかと思う。それに、市全体で自主防災組織が集まるような全体会が年に1回でも開催し、情報共有などが行われているのかといったことも重要かと思う。
- ・次回も防災関係が中心となるかと思うが、皆さんの考えを再度伺いする。その内容をもとに、テーマの決定に向けて協議を進めたいと思う。